

父の身代りとはなつて、獸の棲家へ行つて、とう／＼此仕合はせを得る、姉二人は意地が悪いので、神様の罰で石像になつて仕舞ふ讀んで面白いことは今迄のでよく分る。(定價十二錢、神田區裏神保町九、富山房)

●犬の世界

これは、動物虐待防止會に骨を折られる、例の本田先生のおかきになつた小冊子で、先づ始の可愛い口繪の「舞踏のお相手」のよく出来てること！夫から、いろ／＼犬の種類の繪も見事に出来て、本文には犬と文明、犬の種類、犬の性質、犬の逸話と分けて書かれて居る。幼稚園の小供に讀んで聞かせた所が、その喜んだ事。(定價十錢、神田區南甲賀町八、動物虐待防止會發行)

兵庫縣通信

在武庫郡魚崎通信員 平 岩 學 洋

●神戸孤兒院の現状 同院に於ける現時收容の孤兒は男三十四名女四十四名にして、學事は高等八名、尋常科二十七名、實業補習科二名、夫れ

各學校に通學し、其の他の者は院内に於て教授せりと云ふ。

●肖像除幕式 兵庫幼稚園にては七月二十日同園設立に關し功勞ありし佐藤傳太郎氏外八名の肖像除幕式を行ひたり。

●感ずべき少女 赤穂郡鹽屋村川口そよ(十歲)といふは目下鹽屋尋常小學校二年生にして父石松母ちか妹みか(五歲)の四人暮なるが父は若き時眼病のために一眼を失ひ他の一眼も殆ど失明せんとす、實に其の日暮しも困難の有様なるが、其の上

母も幼年のときも兩眼を失ひ、只今按摩を業とせり、よそは兩親の不自由を察し、父を勵り憐み、朝は早く食事の拵らへなし、父母妹の食事のすみし後に非らざれば己れは食せず、食事終れば自ら髪を櫛りて學校に行き課業を終へて家に歸れば妹の守、又は山に薪落葉等拾ひに行て家計の助をなし又感すべきは父母妹の髪は自ら剃り居るといふ、斯る娘なれば學校にても品行成績とも優等にて、又缺席する等の事なく、昨年末には精勤賞等得たる由。

●夏期休業中の子供 余は休業中の前半は淡路地方及び紀和河泉地方名所舊跡漫遊のために費したり、帰宅後縁陰に書をひもとく暇、子供(生徒)の生活を調べん事を志し、自ら散歩がてら實見したり、我が地方下等社會は多く車力日雇等を業と

する者多く、其等の子弟は多く母の午睡の時隨意遊びを許されて海水浴に飛んで行く位にて、朝から晩まで弟妹のある家にては子守をなし、又子供のない家にては母等と共に隣寸の箱を造りて家計を助けをる者多かりき、中等以上の社會は先づ農業や商業を營む家庭なり、此等の家庭にては下級の子供は海水浴か、又は溜池の中にて日を送るか、又は蜻蛉釣り、或は縁陰を徘徊して蟬をなぶるか、其の他の昆虫を捕へて尻頭足等切りて飛ばし、或は草木等の枝芽等を切り荒しまわるのみにて何時か日は暮るなり、彼等は實に此等のために食欲を忘れて遊び居るなり、較年を経た子供は一概に云ふと怠惰で日を暮す方にて、日中に海水浴に行く位にて、其の他は父母の手傳といふてもわづかにて、多くは氣儘勝手に室内旅行を試み、偶には新

聞雜誌を見る位にて、いはゞ牛か豚の様に彼方の

偶に行きてゐる、此方の偶に行きてゐる、午

睡を貪り爲めに自然手足がひま、働くはたい食欲

を貪るのみ、少數の子供は父母に連れられて大阪

とか須磨舞子とかへ行つた者もあるが、此等とて

少しも價值なくして只贅澤風を子供に吹かしたの

みなり、以上調た大体にて暑中休暇が子供に害毒

を流す事の如何に大なるか、炎威を冒して授業す

ると幾何の差あるか、斯る土地柄の所にては一つ

の疑問であると思ふ、今日家庭教育の熱を高め其

の必要を解く者あれども、實行するもの少きは實

に概歎に堪へざる次第なり、斯る所に於ては學校

と家庭の連絡も何も皆無の有様にて、學校は學校

社會は社會、家庭は家庭にて三個獨立の競争とい

ふてもよい、此れを以て教育の如何かは諒察する

事を得るなり。

交詢欄

夏の休中、大分讀者諸氏よりの御音信がありま

したから、臨時に此欄を設けました。

醬油の微を防ぐ法は簡單でまことに結構と存しま

すが、別に味に變りを來たすことはありませんか

(土佐愛讀者の一人) ▲幼稚園案内は何日かより待

ち設け居り候何卒精細に御記述の上中絶なき様願

上候(九州より) ▲先日私の家にて購讀の雜誌を皆

已めて仕舞はうと父が申した所が、五つになる清

ちやんが婦人と子ども丈けは已めてはいけないと

言て怒りました(千葉ふみ子) ▲始めなされ候様に

地方の兒守歌手毬歌等御載せ相成りては如何に候